

広島市豪雨災害伝承館

広島市豪雨災害伝承館を開館します。

国、県、市が、連携して復旧・復興を進めるなか、広島市では、最も被害が大きかった安佐南区梅林学区の住民からいただいた提言を受け止め、被災したこの地区の復興のシンボルとして、新しい施設の整備を進めてきました。

地域の想いを受け止めた「広島市豪雨災害伝承館」がいよいよ開館します。平成26年8月豪雨を始めとする自然災害から得た知識や教訓に学ぶ機会を提供します。市民の防災意識の高揚、地域における防災活動の促進等、市民が自発的に防災まちづくりを推進するための新たな拠点となります。

語り継ぎ、未来のまちづくりへ

もしまた次の災害が起きても、犠牲者を一人も出してはならない。あのつらい想いは二度と誰にも経験してほしくない。あの災害を、子や孫たち次世代に語り継ぎたい…。こうした地域の想いを防災・減災に活かし、未来のまちづくりに繋がります。

平成26年8月豪雨とは

平成26年(2014年)8月20日未明に、広島市安佐南区などで、死者77人(災害関連死含む)の人的被害と、住家全壊179棟、道路・橋梁・河川堤防1079件の物的被害をもたらした豪雨災害。

令和5年9月1日金開館

(2023年)



広島市豪雨災害伝承館でできること



近隣で見学できる新設の砂防施設(R2.3 堰堤完成)



303砂防施設(上山川)

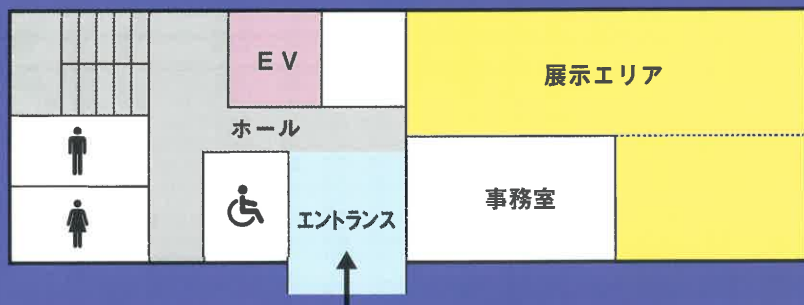


306砂防施設(八木梅林沢)

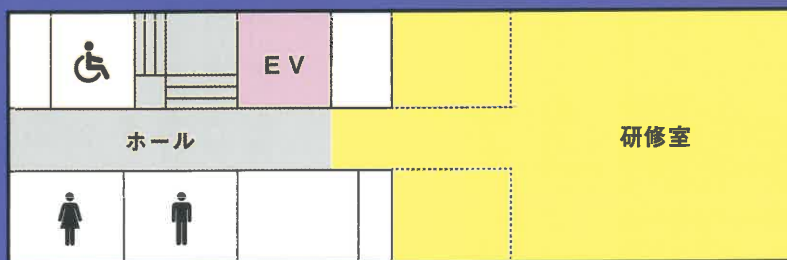


南側から見た広島市豪雨災害伝承館

2F



1F



- 展示エリアの見学(臨場感あふれる土石流のCG映像など)
 - 被災者による語り継ぎ
 - 研修室での防災学習講座(席数120)
 - かまどベンチなどを活用する炊き出し訓練など
 - 一般の方、児童・生徒や教員、防災士、企業など、対象別に、テーマ・時間などの御要望に応じることのできる、豊富な防災・減災学習メニューを整えます。
 - 近隣の施設
 - 災害を機に整備された砂防施設
 - かまどベンチ・防災東屋を備えた隣接公園(約3600㎡)
- 災害の爪痕が残る場所を含めた見学コース

開館時間 10:00~17:00 (少人数の自由見学は予約不要)

休館日 月曜日、休日の翌日(直後の日曜日、土曜日又は休日でない日)、8月6日、年末年始

所在地 広島市安佐南区八木三丁目24番23号

アクセス JR/可部線梅林駅から徒歩約7分(約550メートル) バス/八木梅林バス停から徒歩約7分(約550メートル)
車/山陽自動車道広島インターから約12分 [駐車可能台数]普通車:8台、身体障害者用:2台、バス:要予約

無料入館

問合せ先 広島市都市整備局都市整備調整課復興まちづくり担当 TEL.082-504-2666
(2023年8月末まで。以降は、開館する広島市豪雨災害伝承館が窓口となります。)